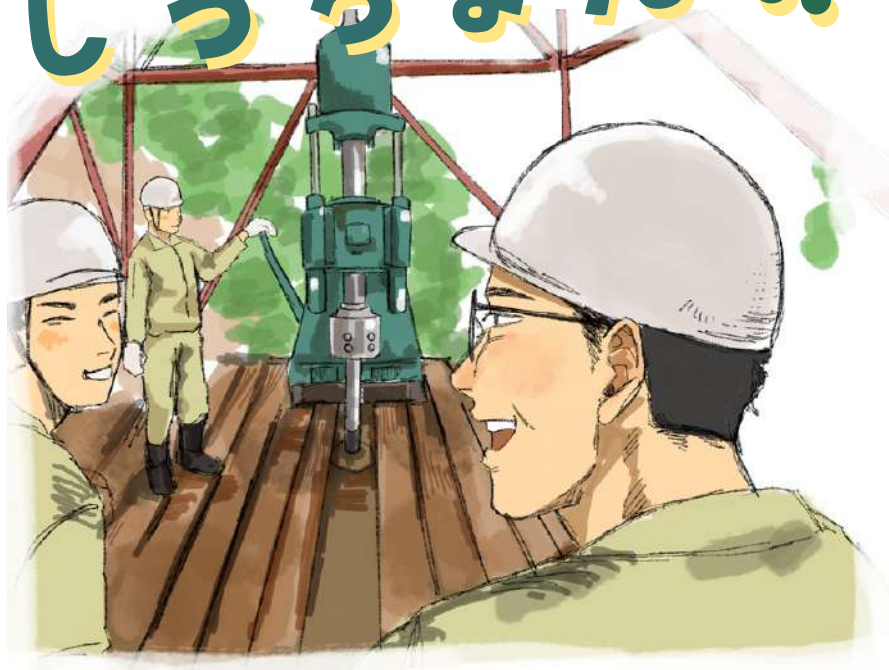


しっちゃん!?



祈りで湧いた奇跡の湯

—山香温泉「風の郷」設立物語—



やまがまち やまがおんせんかぜのさと
山香町に「山香温泉風の郷」が
ものがたり はな
できるまでの物語をお話しします。

An illustration depicting a scene at a hot spring. In the foreground, a man with dark hair and a white headband is shown from the chest up, looking towards the left with a slight smile. In the background, three other people are in the water: an older man with white hair is smiling, a young man with dark hair is standing, and another older man with white hair is standing behind him. The background features a large, green, rocky mountain under a blue sky with soft clouds. The water is a light blue color, and there is some steam or mist rising from it.

山香町役場 企画課

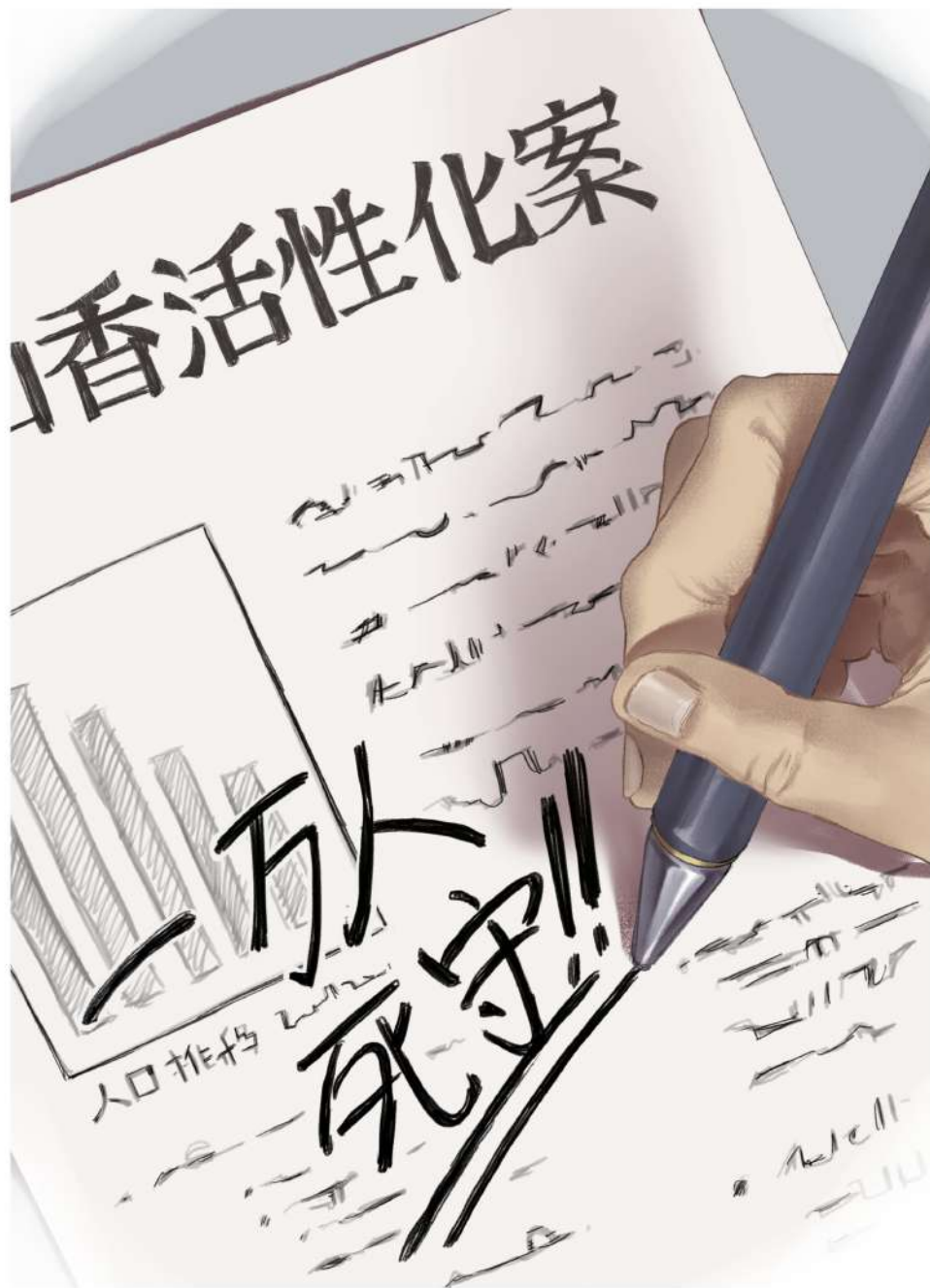


本日の目標



わたし やまがまち しごと
そのころ、私は山香町でお仕事をしていたんだ。
やまがまち しょうわ がっぺい まち
山香町は、昭和の合併でいくつかの町が
いっしょ まち にん
一緒になってできた町で、かつては16,107人も
す じんこう
住んでいたけれどだんだん人口が
すく
少なくなってしまったんだ。

そこで、^{まち}町の^{ひと}人たちは
なんとか10,000人^{にん}を守ろうと^た立ち^あ上がったんだ。



わたし まち かんが
私たちは町をもっとにぎやかにしようと考えて、
ねん こうのさん かんが かい
1984年に「甲尾山を考える会」をつくったよ。

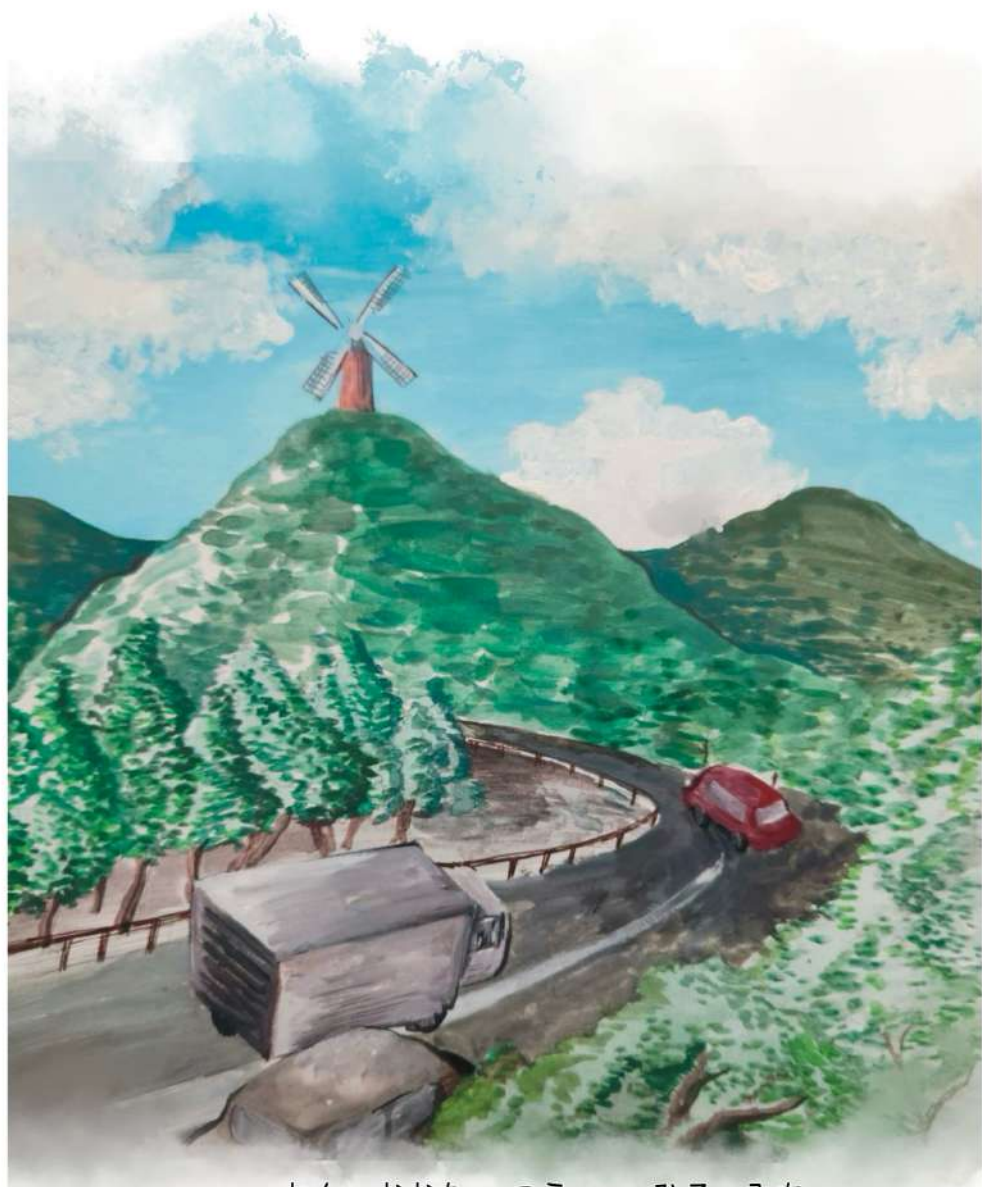


こうのさん せいそうかつどう
甲尾山では、みんなで清掃活動をしたり
まいとしさくら ひら
毎年桜まつりを開いたりして
ひと あつ ばしょ
たくさんの人が集まる場所にしたんだ。



まぢ
そのころ、町のためにいろんなことを考えて、
かんが
まぢ いっしょ べんきょう
ほかの町と一緒に勉強したり、
ひと はな あ
たくさんの人と話し合いをしたりしたんだ。





そして、^{ねん}1994年^{おおた}に大田^{つう}に通じる^{ひろ}広い道^{みち}ができて
^{まち}町^{まち}と町^{まち}がもっとつながるようになったんだ。

^{とし}この年^{こうのさん}に、甲尾山のまわりを
^{はってん}もっと発展^{けいかく}させる計画^{はじ}が始まったんだ。



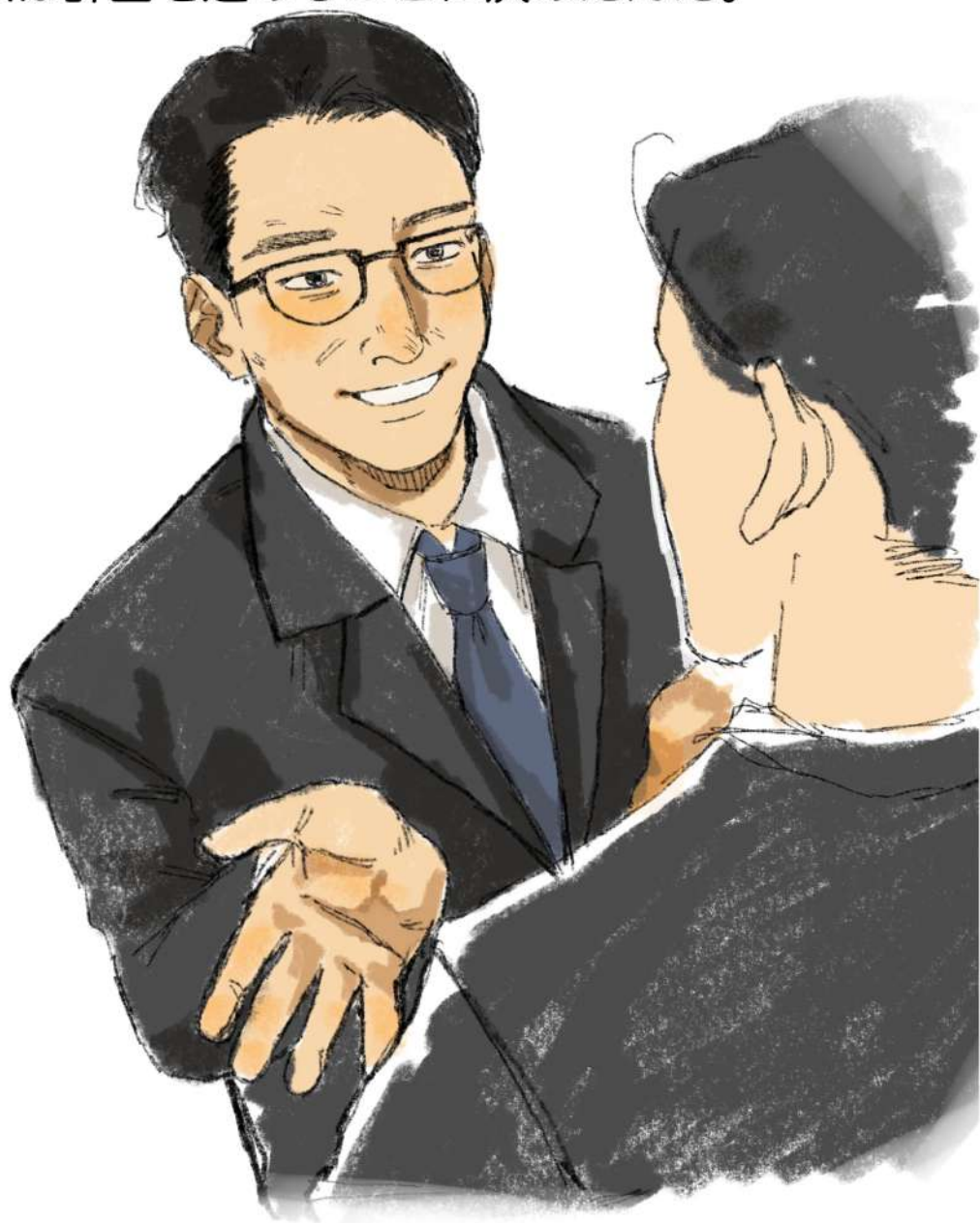
かぜのさと ばしょ
いま「風の郷」がある場所に
おんせん しゅくはくしせつつく
温泉や宿泊施設を作ろうという
で
アイデアが出て、
ねん こうのさんかぜのさと
1998年に「甲尾山風の郷」を
つく じゅんび はじ
作るための準備が始まったんだよ。

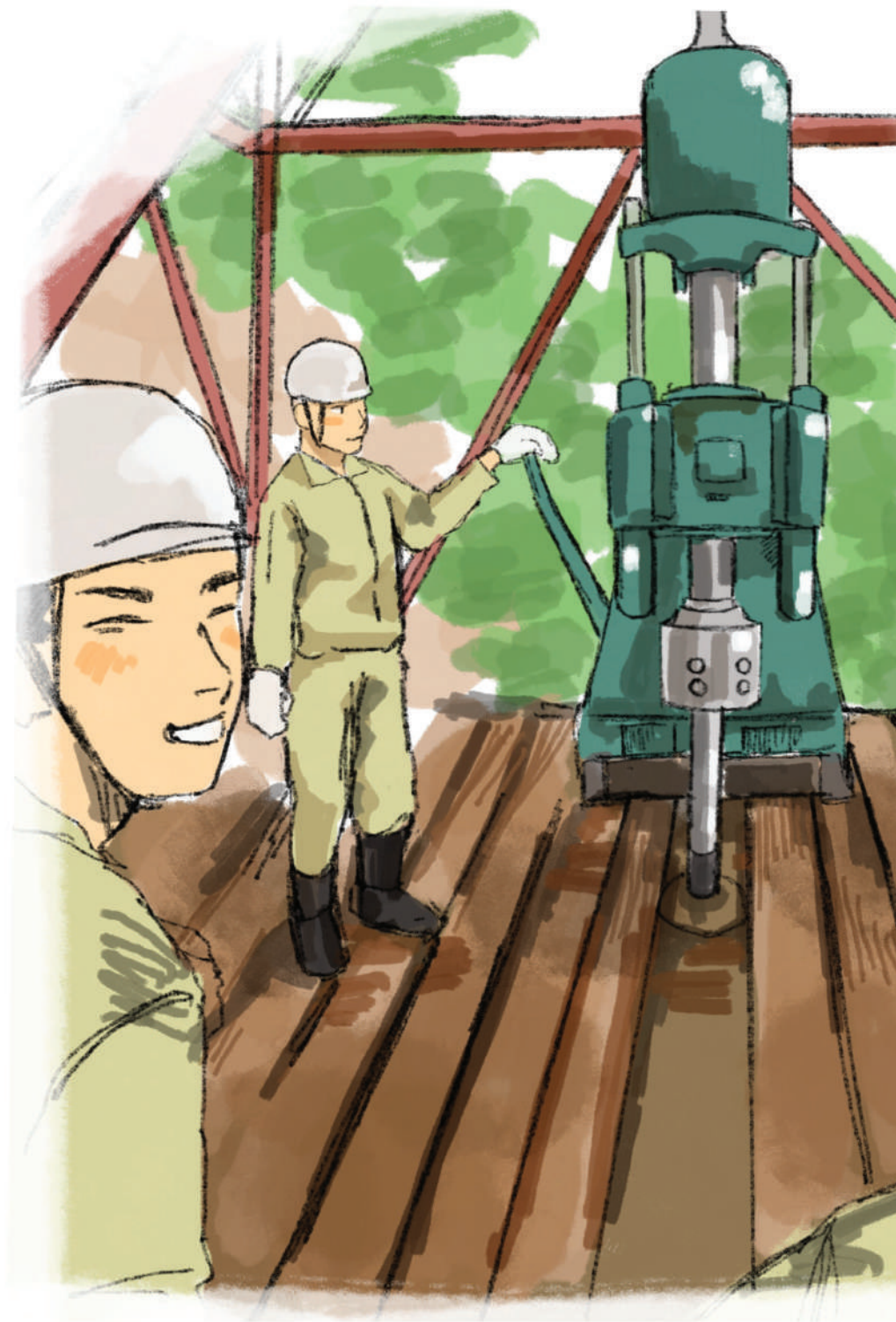
さいしょ おんせん で しら
最初に、温泉が出るかどうかを調べるために、
いろいろな探査をしたんだ。
そして、3つの場所^{ばしょ}で温泉が出るかもしれない
という結果^{けっか}が出たんだ。



あと ちょうちょうか
その後、町長が変わるときに

けいかく つづ なや
この計画を続けるかどうか悩んだけど、
わたし けいかく すす き
私は計画を進めることに決めたんだ。





おんせん ほ
温泉を掘ると、
700メートルのところで
おんせん で
温泉が出たけど
しゅうかん
2週間ほどした頃
ゆりょう へ
お湯の量が減ってしまったんだ。



ほり すす
けれども、あきらめずに掘り進めると、
1,504メートルのところで、
のぞ おんせん で
望んでいた温泉が出てきたんだ！



で おんせん いろ ちゃいろ
ところが、やっと出た温泉は、色が茶色くて、
たいへんくさ つか
大変臭くて、使えそうになかったんだ。
せんもん ひと たの
そこで、専門の人に頼んで、
つか
どうにか使えるようにしようとしたんだ。

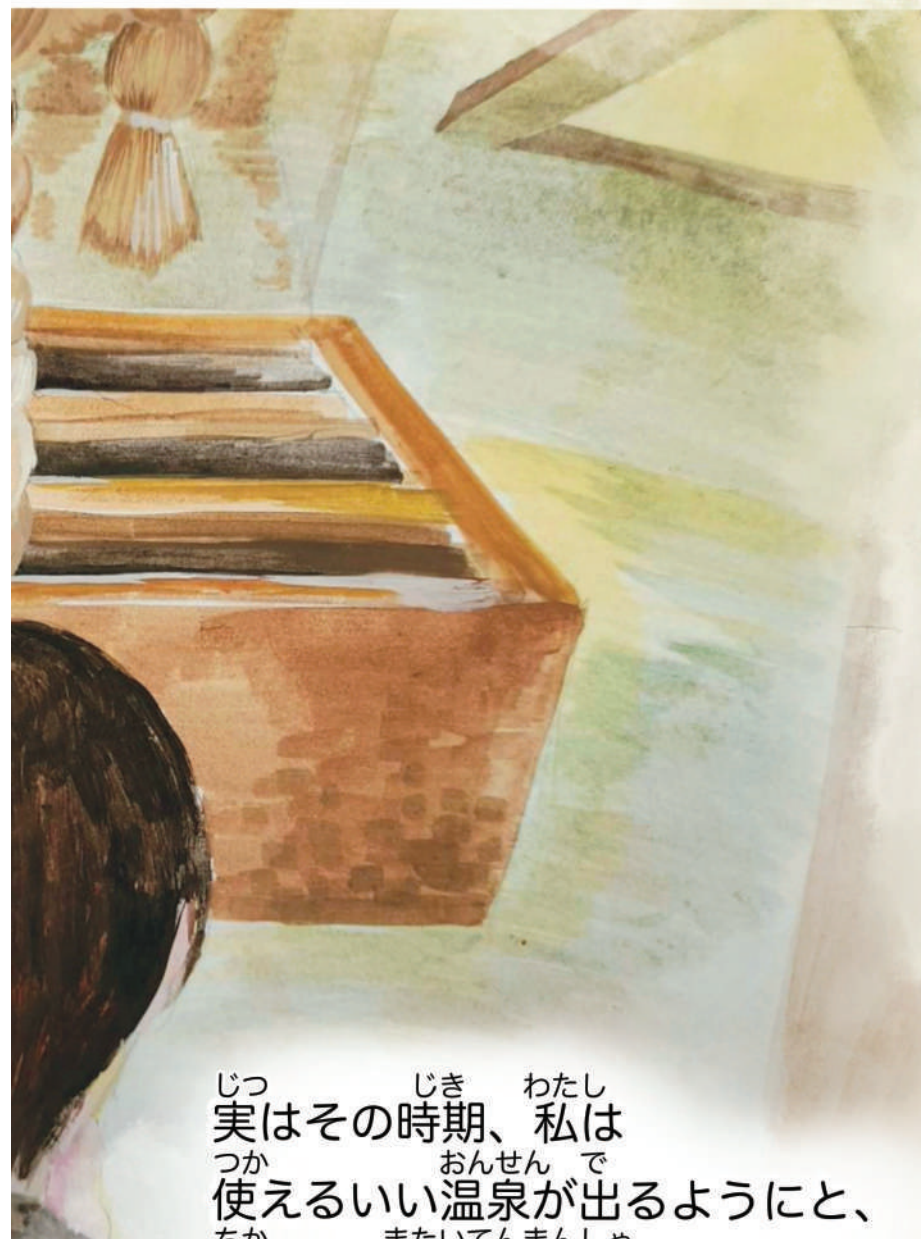
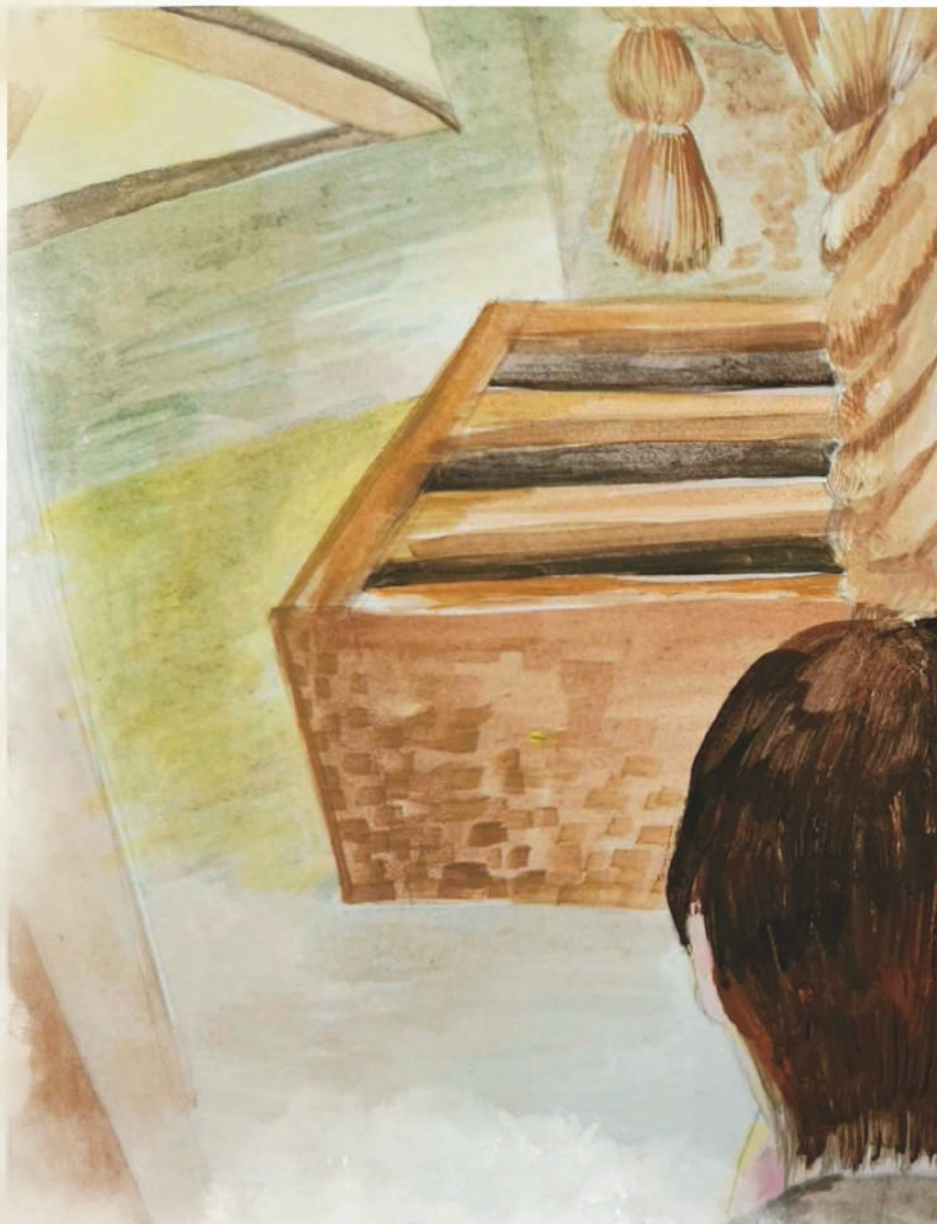


おんせんしせつ つく こうじ はじ
こうして、温泉施設を作る工事が始まったけど、
いろいろなトラブルがあって、
ドイツから機械を購入したこともあったんだ。
なので、お金がたくさんかかった。



その後、^{あと こうじ}工事がうまく^{すす}進まなかったことから、
^{わたし べつ しごと うつ}私は別の仕事に移ることになってしまい、
^{おんせん たてもの かんせい}温泉の建物が完成するまで
^{はな ばしょ みまも}離れた場所から見守ることになったんだ。





じつ じき わたし
実はその時期、私は
つか おんせん で
使えるいい温泉が出るようにと、
ちか またいてんまんしゃ
近くの「又井天満社」に
まいにち ねが
毎日のようにお願いをしたんだ。

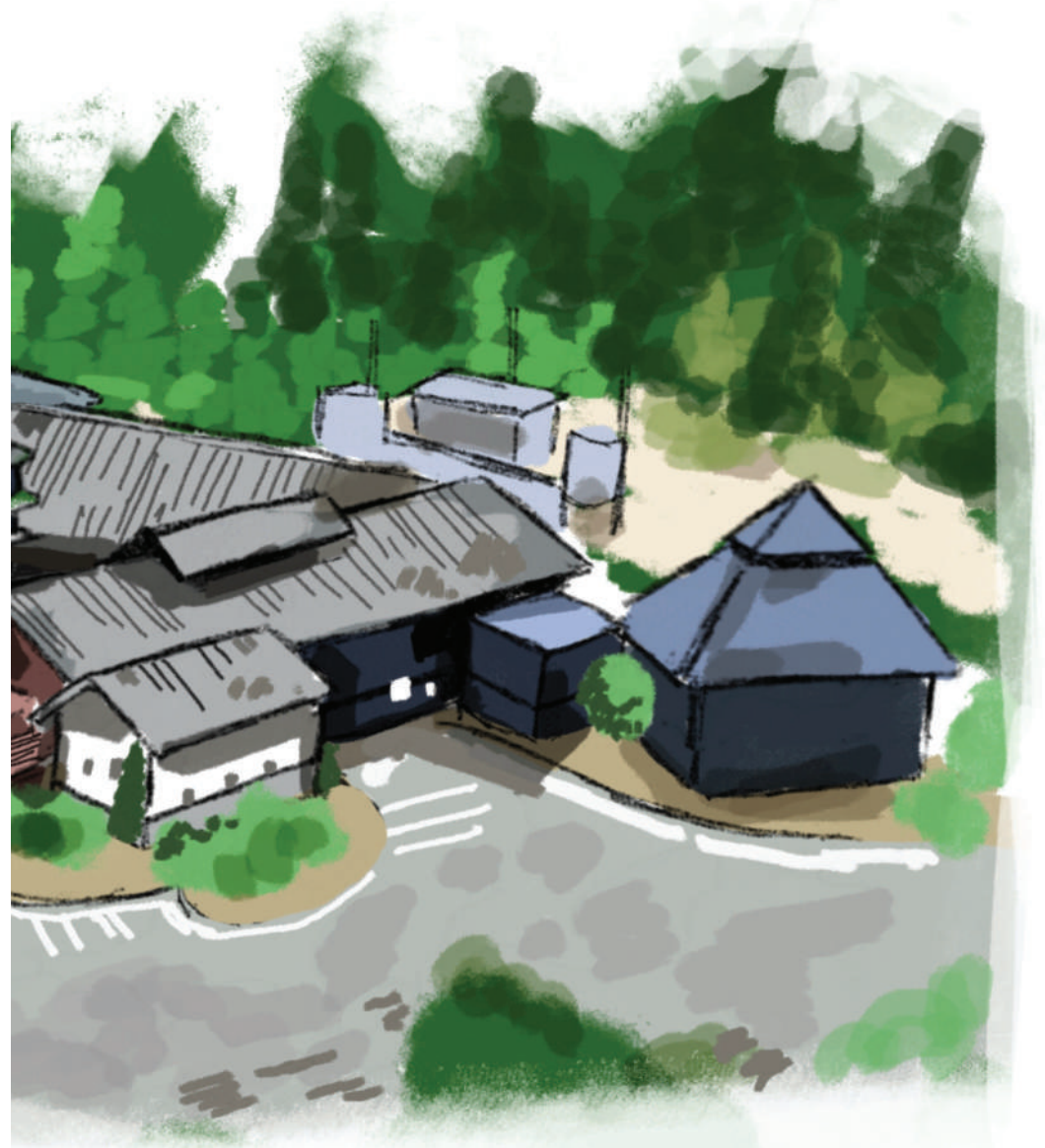
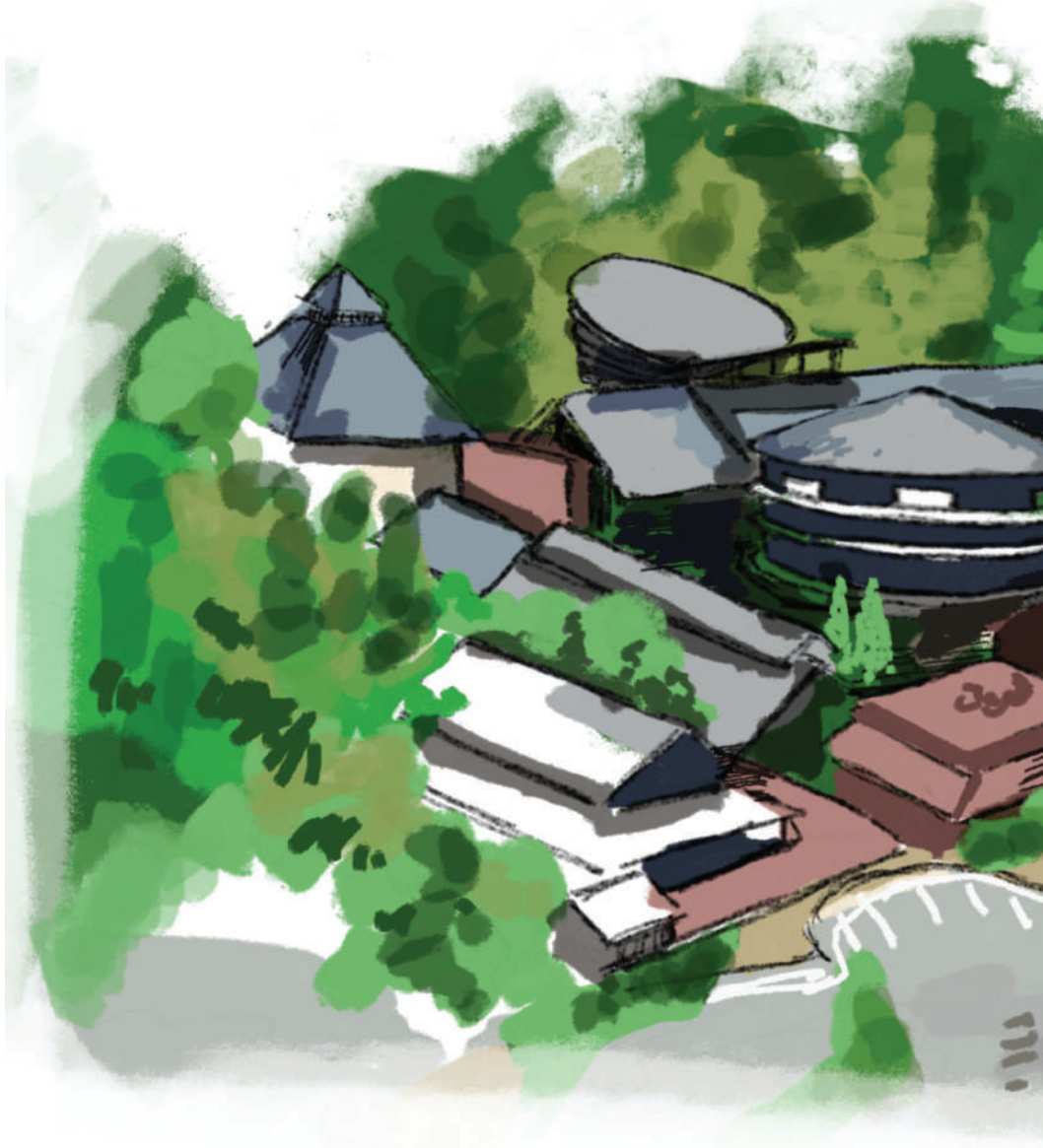


おんせん いろいろ せいぶん
この温泉には色々な成分が
ふく
含まれていて、
こ おおいたけん いちばん
その濃ゆさは大分県で一番なんだ。



するとそのおかげか、
おんせん じぶん
いい温泉が自分で
わ だ
湧き出してきたんだ！

そして、2000^{ねん}年^がの7^{にち}月7日
ついに「風の郷」^{かぜのさと}がオープンしたんだ



これまでお話ししたように、
この山香温泉風の郷は
「地域のためになる
素晴らしい温泉が出来ますように」
とお祈りし続けて湧き出した
「奇跡の湯」なんだ。
みんなで大切にそして上手に活用しよう！





山香温泉に
入りたく
なってきた...!



ふうた

山香温泉有効活用研究会

キャラクター

